

「マルチステークホルダー方針」

A G C グラスプロダクツの企業活動は、お客様はもちろん、株主、お取引先様、行政、NPO・NGO、地域社会、そして従業員やその家族など、ステークホルダーの皆様との関わりの中で成り立っていることを踏まえ、当社は、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うなど、すべてのステークホルダーに価値をプラスすることにより、持続的な成長を目指します。このような考え方から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

A G C グラスプロダクツは、A G C グループの一員として「2030年のありたい姿」の実現に向けて、事業ポートフォリオの変革とサステナビリティ経営を推進しています。その原動力となるのは「人財」であり、従業員一人ひとりが、持てる能力を最大限に発揮し、個々人の総和が強い組織をつくりだし、事業戦略や組織目標が実現され、会社と個々人の成長を生み出している状態を目指しています。

これらを通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果を踏まえて賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、経済環境や物価など外的環境と自社の業績や従業員の貢献など内的要素を踏まえて、競争力のある水準を目指していきます。

また、教育訓練等について、技術・技能研修や階層別研修といった育成プログラムのほか、データ解析スキルを有する人財の育成などにも取り組み、多様な人財が個々人の能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めていきます。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/48560-05-13-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2025年11月20日

A G C グラスプロダクツ株式会社

法人名

代表取締役社長執行役員 半田 昌史

役職・氏名（代表権を有する者）